製作:

新潟大学大学院医歯学総合研究科

公衆衛生学分野・健康増進医学分野

< ステップ1:入力するファイルの選択>

入力するデータ数に併せて,500人用,3000人用,5000人用,10000人用,30000人用いずれかのファイルを選択して起動する。(例えば年間の出生時数が約 250人の市町村では,1ファイルに1年分の出生児についてデータを入力する場合には500人用,10年分の出生児についてデータを入力する場合には5000人用 を用いる。ただし5000人用以上を用いる場合には高性能でメモリー搭載量の多いパソコンが必要。)

🛛 Microsoft Excel - F町改.xls														<ステップ2:対象児のデータ入力>
図 ファイル(E) 編集(E) 表示(L) 挿入印 書式(Q) ツール(D) データ(Q) ウィンドウ(M) ヘルブ(H) Acrobat(B) = #														
Ľ,													×	
									19 BF	% 33 4	3 🗄 •	· 🗠 - 🕰 ·	• ~	入力シートのH~R列に対象児の住氏番号(左図では入力されてい
11	D 🖻	ê 🔜 👻	1 🚳 🖪	V 8	🖻 🛍 י	- 🝼 🔊	• CH =	🍓 Σ 🔹	21 🛍	75% •	* *	🛃 🐉 📆	Π.	ない) , 生年月日 , 各種ワクチン接種年月日を入力する。
		A1	-	f.										
	G	н	1	L	м	N	0	Ρ	Q	R	8	T		
Ε,		住民番号	生年月日	ポリオ1	ポリオミ	三道1	三退2	三道の	磨しん	厳しん	軽入また け転用	転出年月日	=	ただし転入児は入力しないか,S 列のセルに 1 を入力する(計算か
	2		H12.1.2	H12.10.6	HT2.12.7	H12.5.17	HI2.6.14	HI 2.0.16	H13.1.24	HE 3.2.20	10.01.00			こ 吟み さわえ い
1	8		H12.1.4	H13.3.2	H13.10.5	H12.4.6		Ht 2.6.23	H13.1.11	Ht 3.4.5				ら防水される。
1	4		H12.1.8	H12.10.6	HI 3.3.2	H12.8.10	HI 2.9.21	H12.11.8	H13.1.20	H13.4.17				
E	5		H12.1.12	H12.12.7	HI3.3.2	H12,425	HI2.5.19	H12.8.1	H13.4.25	HI 3.5.24				
E	7		H12.1.14	H12.10.5	HI3105	H12.6.28	HI 2.8.9	H12.9.13	H132.14	HI3.3.14				また、転出児はS列のセルに2を入力し、転出年月日を工列に入力
H	0		HI2110	HI2127	HIJ.J.2	HI2.0.13	LH 0 0 1 0	HI2.7.20	HIJJ 28	HE 3.10.5			_	
H	¢ 9		H12.1.18	H12.10.6	H1212.7	H12.6.29	H12725	H12.8.23	H13228	H13.4.3			-	する(転出年月日を入力しなかった場合は全ての計算から除外され,
	0		H12.1.21	H143.5	H15.3.4	H12.6.13	HI 2.7.7	HT2.10.21	H13.11.30	H142.4	-			\ _ L _ L I _ L
1	1		H12.1.23	H12.10.6	Ht 3.3.2	H12.6.14	H1 2.7.6	Ht 2.7.28	H13.8.27	H13.9.25				人力した場合には減3歳になる則に転出した児か計算から除外され
1	2		H12.1.24	H12.10.6	HI 2.1 2.7	H12.6.19	HI27.12	H12.8.2	H13.1.24	Ht 3.2.21	1			Ζ)
1	3		H12.1.24	H13.3.2	H13.6.19	H12.8.21	H12.9.28	Ht 3.1.23	H13.4.2	Ht 3.5.18				۶. ۲
1	4		HI 2.1.25	H12.10.6	HI 3.3.2	H12.9.6	HI3216	HI 3.3.31	H147.10	HI 4.8.30				
1	5		H12.1.26	H12.10.6	H13.3.2	H12.6.29	H12.7.21	H12.9.14	H13.5.12	H13.6.9	1			
L.	5		HT 2.1.27	HI 2.10.6	HT2.12.7	H12.6.29	H12.7.27	H12.0.24	H13215	HE 3.6.21			_	
H	7		H12.1.27	H12.10.6	H12.12.7	H12.5.7	HI2.6.28	H12.7.19	H13.1.31	HI 3.3.7				
н	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・												入力後,<ファイル 名前を付けて保存>により,適当な名前を付	
10	🛛 🖾 🕺 🕹 マートシェイナ 🕪 - 🔪 🐂 🔿 🔛 🖉 💭 🖾 🧆 - 🚄 - 📥 🚍 📑 📑 👘 🦉													けて保存する。
NUM //														



<ステップ3:接種率計算に用いる基本情報の入力>

ある年(又は年度)に生まれた児の接種率を計算するように設定するため,入力シートの青いセルB7~9に対象とする出生年(または年度)の開始日(年,月,日を各々入力)を入力する。その日から1年間に生まれた児が計算の対象となる(すなわち B16 と B17 に自動表示される年月日の間に生まれた児が計算対象となる)。

なお,多人数人用のファイルを用いた場合には初期計算に時間がかかるので,上記の計算開始年月日を入力後,エク セル左下角に表示される"再計算"が100%になってから以下の作業に移る。

次に,青いセルB13 にデータ更新年月日を入力する(平成 年×月 日は,H .×. で入力)。なおデータ更新年月 日には,「この日までの接種状況は全て把握している」という日を入力する。例えば平成14年度の接種状況が全て確定 した後に入力した場合,左図の用にH15.3.31 と入力する。入力しなかった場合には,ステップ1で入力された全接種 日のうち,最終の接種日(B23 に表示)が代用される。



< 4:結果の表示>

Report シートを選択して結果を表示させる。全対象児の何パーセントが満1~ 3歳までに接種をすませたかが,各満年齢(満月齢)誕生日時点での接種率とし て表示される。

厚生労働省による標準的な接種年齢が終了した満年齢(満月例)誕生日時点の 接種率が,表中では赤太字,グラフでは赤点線で示される。

ステップ3で入力されたデータ更新年月日(入力していなかった場合にはワク チンの最終接種日)が最終データ日として J6 に表示され,この日までに1~3 各満年齢(満月例)に達した児の数が L4~6,L22~45 に表示される。これが C6 に表示されている計算対象児数に達していれば全員が各満年齢に達したこと になるので,その満年齢・満月齢までの接種率が確定値となりP列・L列に(確 定)と表示される。

左図では,最終データ日(平成 15.3.31)までに全員が満2歳を迎えているので,満2歳までの接種率は確定している。

入力された最終データ日までに満3歳に達している児はまだ 45 名しかいない が,既に全計算対象児288 名(C6)中の85.7%が風疹接種をすませている。満3 歳に達していない風疹ワクチン未接種児がこれから接種を受ければ満3歳誕生日 までの接種率がより高くなるので,そのような未接種児(入力シートのE列"最 終データ日満年齢"が3未満で,風疹接種が行われていない児)を探して接種勧 奨することで風疹流行予防の効果をより高めることが可能となる。

< ステップ5:保存>

ファイルを保存して終了する。